

富山県知事

石井 隆一 殿

県立高校の再編に係る要請書

富山県町村会

日頃から、町村行政に関しご高配を賜り、感謝申し上げます。

さて、県立高校の再編に関しては、現在、県総合教育会議において、平成 28 年 4 月に「県立学校整備の在り方等に関する検討委員会」が取りまとめた「県立学校整備の在り方に関する報告書」を踏まえ議論がなされております。

「県立学校整備の在り方に関する報告書」では、基本計画や前期計画の評価と今後の課題を踏まえ、今後の望ましい規模や配置などの基本方針が示され、1 学年 4 学級以上が望ましいとされているところです。

しかしながら、この基本方針により再編の対象とされる小規模校を有する地域からは、地域の活力低下等の懸念が示され、また、先般、県内 5 か所で開催された再編に関する意見交換会においても、慎重な検討を求める意見が多数上がったと認識しております。

申すまでもなく、県立高校は高等教育として求められる質の確保・向上と生徒の多様な学習や進路希望に対応した教育活動に取り組む一方で、地域行事への参加や地域に密着した実践教育を推進するなど地域の振興・活性化にも重要な役割を果たしているところであり、県立高校の再編の問題は、人口減少・高齢化が進み空洞化が懸念される町村においては、自治体の将来のあり方をも決定づける重要な課題であります。

小規模校をめぐり関係者間で意見の相違が生じ、議論が平行線をたどる現状においては、早急に結論を出すことは将来に禍根を残すことになるのではと懸念するところであります。

つきましては、県総合教育会議における検討にあたっては、高校教育の将来像や小規模校の存続の可能性など、これまで以上にオープンで慎重な議論を重ね、関係町村の理解が得られる努力がなされるよう、お願いするものであります。

平成 29 年 8 月 3 日

富山県町村会長 金森 勝雄